

「日朝国交正常化全国連絡会」への参加の呼びかけ

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の核開発をめぐる6ヵ国協議や、日朝間協議が進みはじめた7月24日、東京の韓国YMCAにおいて全国の平和運動の18都道府県60名の仲間が集まり「日朝国交正常化促進全国交流会議」を行ないました。「会議」では、まず福山真劫平和フォーラム事務局長が、2003年12月以降行なわれてきた「東北アジアに非核・平和の確立を！日朝国交正常化を求める連絡会」の活動を報告、拉致問題を理由に日朝関係正常化へのとりくみを拒み、むしろ東北アジアの平和構築に妨げとなっている日本政府の政策をただすために、日朝国交正常化の運動を強化する必要性を提起しました。そして、組織体制を整備し、めざすべき方向を「東北アジアの非核・平和の確立、日朝国交正常化」、とりわけ大韓帝国が日本軍国主義によって併合された1910年から100年にあたる2010年までに決定的前進を勝ちとることを目標に、9・17集会をはじめとしてとりくんでいく方針を提起しました。

全国の仲間からは各地でのとりくみ、地方議会への働きかけ、訪朝団派遣、在日団体との連帯などが報告されました。また、拉致問題における真の解決の内容や道筋が議論されていないために、東北アジアの平和を冷静に考える機会を妨げる結果となっている状況のなかで、日朝のよりよい関係を生み出そうとする活動を展開する上での悩みなどが率直に語られました。

交流集会は全体として福山事務局長の提起を受け止めていっそうのとりくみを進めることで一致しました。この日を出発点として「連絡会」を強化再編、「日朝国交正常化連絡会」と略称を定め、清水澄子(朝鮮女性と連帯する全国連絡会)・福山真劫(平和フォーラム)・石坂浩一(立教大学准教授)を共同代表(石坂共同代表は事務局長兼任)、和田春樹(東大名誉教授)・吉田康彦(大阪経法大客員教授)・田中宏(龍谷大教授)を顧問選任するなど、とりあえずの役員体制を立てて運動していくこととしました。

同日夜には300人が参加して総評会館において「日朝国交正常化を求める集会」を行ないました。民主党の今野東参議院議員、社民党の保坂展人衆議院議員のあいさつに続いて、姜尚中東京大学教授、和田春樹東京大学名誉教授、李鍾元立教大学教授の講演を受けました。その後、長野・新潟・大阪のとりくみの報告、金順彦東京朝鮮学園理事長の外国人学校処遇改善についての書名協力の訴えを受けた後、全国交流集会の報告と今後の運動の提起を行ない、「日朝国交正常化の実現のために全国的に運動を連携して盛り上げていく」との集会アピールを採択しました。

「日朝国交正常化連絡会」は、7月24日集会の確認をもとに、会への参加を広く呼びかけています。これまで全国各地で東北アジアの平和と日朝国交正常化に向けて努力してきた諸団体・個人のみなさまが、連絡会にぜひともご参加いただくようお願い申し上げます。

東北アジアに非核・平和の確立を!日朝国交正常化を求める連絡会(日朝国交正常化連絡会)
連絡先=フォーラム平和・人権・環境

千代田区神田駿河台3-2-11総評会館1F Tel03-5289-8222 Fax03-5289-8223

「日朝国交正常化連絡会」に参加希望の団体・個人は必要事項を記入し、返送してください

団体名もしくはお名前 _____

連絡先住所 _____

返信先

TEL _____ FAX _____

FAX:03-5289-8223

E-mail _____

E-MAIL: peace-forum@jca.apc.org